

異常頭蓋ノ一例ニ就テ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38487

テ來ルヤウニナル、ソシテ寒胃ニハ屢々カ、ソレ故親ハ益々温包スル、從ツテ次第ニ病勢ガ募ル様ニナリ著シイ
營養障害ヲ惹起ス、斯様ニ *Erwärmung* ニヨツテ種々ノ病變ノ起ルコガ逐一説明シ得ルト考ヘル

而シテ普通デ言ヘバ虛弱ノ體質ト云フカモ知レヌガ之レハ已ニ健康デアツタ既往ガアル、マタ度々寒胃ニ罹ルコ
ガアルノニヨツテ之レヲ寒胃トセンカ經過カラ觀レバ本病ノ方ガ長イ、即チ慢性病デ寒胃トハ別物デアル、又諸部粘
膜ニ慢性ノ加多兒ノアル所カラ之レヲ此等ノ加多兒ト説明シテモヨロシイ様デハアルガ之レデハ總体ニ亘ツテ説明
ガツキカチルシ且ツ現存スル病氣ヲ各個別々ニスルノハ診斷、治療ノ上ニハ至當デナイ事柄デアル、然ルニ之レノ原
因上カラ *Erwärmung* トシタ方ガ此病ノ全体ヲ綜ベ括ルコガ出來ヤウト考ヘ、斯克別ニ一疾病ヲ組立テタイト思フ
ノデアリマス



○異常頭蓋ノ一例ニ就テ (附、一圖版二圖)

金澤醫學專門學校解剖學教室ニテ

特別會員 中野 鑄 太郎

(澤 金)

本誌第四十九號ニ報告シ先進諸氏ノ垂教ヲ仰ギシ異常頭蓋ノ一例ニ就キ其後在京都醫科大學足立博士ヨリ *Zeitschrift für Morphologie und Anthropologie* Bd. X Heft 3. (1907) ニ登載セラレタル自著 *Processus parietalis squamæ temporalis* ノ別刷一部ヲ寄セ余ノ實見シタル如キ異常縫合ニ就キ既ニ *Schwalbe* 氏ガ前記雜誌 (1903) ニ報告シタ

ルコトヲ敎示セラレタリ

該異常縫合ハ顱頂骨鉛直縫合 *Sutura parietalis verticalis* ト稱シ甚タ稀レニ存在スルモノニシテ *Schwalbe* 氏ハ種々ノ方面ヨリ人間ノモノニ例猿類ノモノハ例(内一例ハ足立博士ノ實見ニ係ル)ヲ集メラレタルニ過キスト

尙足立博士ハ顱頂骨鉛直縫合ヲ博士カ命名セラレタル顱顱骨鱗狀部顱頂突起 *Processus parietalis squamæ temporalis* (顱顱骨鱗狀部ノ中央ニ存スル一突起)ト關係ヲ有スト論セラレタリ故ニ余ノ一例ヲ精査スルニ

一、外面ハ其縫合ノ下端ニ於テ博士ガ命名セラレタル突起カト思考セラル、著シク尖銳ナル突起アリ(右顱顱骨ニモ畧同一ノ箇所ニ存在ス)然レドモ

二、内面ニ於テハ明カナラズ又

三、縫合ノ下端即チ其突起ノ存在スル位置ハ顱顱骨鱗狀縫合ノ中央ニアラズシテ前三分ノ一ノ後部ニ位ス

四、同突起ノ方向ハ後上方(博士ノ實見)ニ向ハズシテ稍眞直ニ昇ル

五、同突起ノ尖端ト縫合ノ下端ハ縫合骨存在スル爲メ直達セズ(以上第一圖參照)

六、中硬腦膜動脈溝ハ第二圖ニ示スガ如ク種々ノ位置ニ於テ外面ニ開口スルモ博士ノ述ベラレタル此突起ニ伴フテ

走ル溝ヲ認メズ但シ異常突起(本誌第四十號參照)ノ存スル爲メ或ハ溝ヲ爲スニ至ラザリシカ(中硬腦膜動脈溝ハ第二圖A乃至Eノ位置ヨリ第一圖A乃至Eニ通ズ)

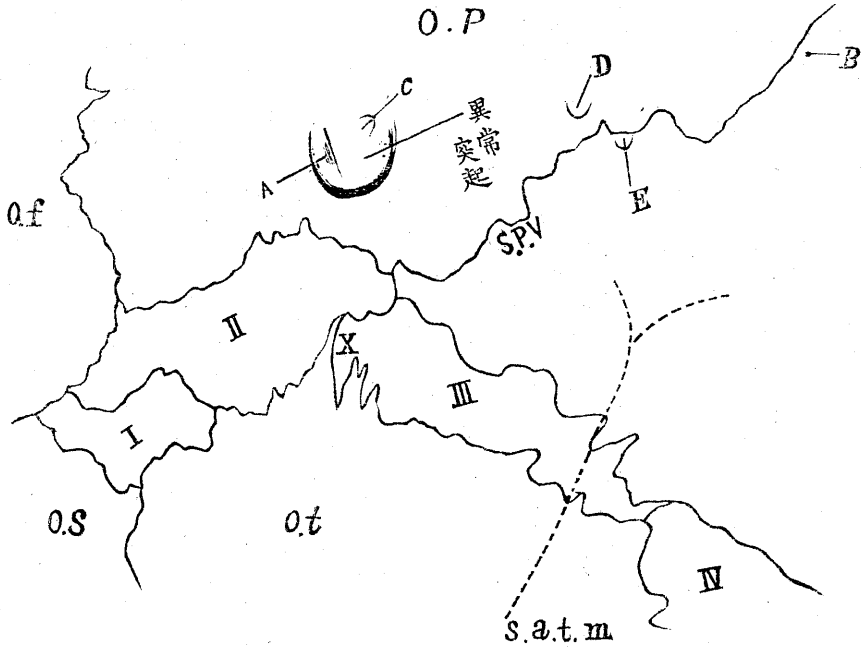
前記ノ如ク種々異点アルモ恐クハ余ノ一例モ博士ノ意見ニ一致スルモノナランカ

余ハ茲ニ其大要ヲ讀者ニ報シ併テ調査ヲ粗忽ニ附シタルノ罪ヲ謝シ尙足立博士ガ余ニ與ヘラレタル厚意ニ對シ感

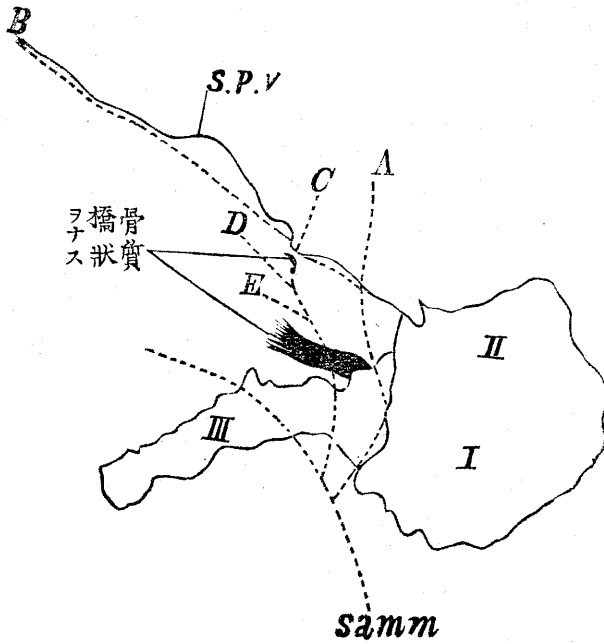
謝ト敬意ヲ表ス

(明治四十一年十月二十三日受領)

第一圖 (外面)



第二圖 (内面)



samm	s.a.t.m	X	s.p.v	
中硬脳膜動脈溝	中顳動脈溝	顳骨顳頂突起	顳頂骨鉛直縫合	I - VI 縫合骨 (第二圖ノI IIハ癒着ス)
o.s 蝴蝶骨	o.t 顳骨	o.p 顳頂骨	o.f 前頭骨	